

資料 4

地方創生推進交付金活用事業

(1) 広域公共交通でつなぐ地域の宝（人・観光・健康・仕事）1市2町連携プロジェクト

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 平成30年	令和元年度	令和2年度	目標値 令和3年度
1	広域連携バス (壬生町ー下野市ー上三川町) 利用者数	年度目標値	3,500人	10,800人	13,400人
	実績値	0人	4,280人	4,769人	
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	令和元年10月から実証運行を開始した広域連携バスであるが、令和2年10月、更なる利用促進を図るため ゆうきが丘循環線について、より乗車が見込まれるルートへの変更や大松山運動公園に延伸する取組を行った。このほか、ゆうがおバス スタンプラリーや、バス絵画コンテスト等、各種利用促進事業を実施したが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発出・外出自粛が叫ばれるなど、利用者数は伸び悩んだ。今後も持続可能な地域の公共交通として継続できるよう、利用者の意見や利用実態の分析を行い、より利用が見込めるダイヤへの変更等、見直しを行う。 なお、バス運行経費に係る国の補助基準が、運賃収入・走行距離・運行回数等から積算する輸送量ベースの人数としているため、KPIの数値もこれに沿った積算値としているところで、令和2年度の実利用者数としては22,536人である。			
	担当課	安全安心課			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和元年度	令和2年度	目標値 令和3年度
2	下野市観光入込客数 (1市2町観光入込客数)	年度目標値	2,365,209人 (6,273,443人)	2,368,209人 (6,280,643人)	2,372,209人 (6,289,943人)
	実績値	2,363,209人 (6,268,343人)	2,313,409人 (6,108,685人)	1,797,291人 (1市2町は未定)	
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	コロナウイルス感染症の影響で、休館や時短営業等で市内一番の観光客が来訪する道の駅しもつけが前年比7万人以上減少してしまった。また、市を代表する天平の花まつり・芋煮会・燈桜会など大規模イベントが中止になってしまったことや、しもつけ風土記の丘資料館が改修工事で閉館していたことなどから、大幅な減少となった。 令和2年度に道の駅しもつけがリニューアルし、駐車場を増設したことや、令和3年度にしもつけ風土記の丘資料館がリニューアルオープンしたことから、下野市の歴史的特性である文化財を活用した市内周遊観光を促し、観光客の増加に繋げて行く。			
	担当課	商工観光課			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和元年度	令和2年度	目標値 令和3年度
3	下野市健康マイレージ参加者数 (1市2町健康マイレージ参加者数)	年度目標値	346人 (1,244人)	376人 (1,334人)	426人 (1,444人)
	実績値	326人 (1,153人)	424人 (1,279人)	436人 (1市2町は未定)	
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	市民にがん検診受診と健康習慣の定着を促すことを目的とした事業であり、普及のために集団検診受診者やポイント対象事業参加者全員にポイントカードを配布する、また事業自体の魅力向上のため景品の内容を充実させる等の取組を行ってきた。令和元年度・令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者数が減少した。そのため、事業への参加を廃止し、健診と健康チャレンジのみで実施。参加者は令和元年度より増加した。また、事業に初めて参加・健康づくりのために参加した者も増加した。さらに、健康チャレンジではチャレンジ目標を約82%の方が継続している。今後も事業の周知・普及に取り組み、事業の効果についても検証していきたい。			
	担当課	健康増進課			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和元年度	令和2年度	目標値 令和3年度
4	下野市東京圏からの転入者数 (1市2町の東京圏からの転入者数)	年度目標値	460人 (900人)	470人 (930人)	480人 (960人)
	実績値	450人 (870人)	457人 (931人)	476人 (1市2町は未定)	
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	令和2度より、第二期下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略で「東京圏からの新しいひとの流れをつくる」を基本目標に、快適に住み続けられる環境づくりを進めてきた。また、シティプロモーションサイト「プチハピしもつけ」の動画コンテンツを充実させるなど、下野市の認知活動を行ってきた。 下野市では転入者数が19名増と、前年度より増加した。今後は、SNSなど情報発信コンテンツをさらに充実させ、来訪者を増やすことで移住・定住者の獲得につなげたい。			
	担当課	総合政策課			

地方創生推進交付金活用事業

(2) 6次産業化施設ゆうがおパークの活性化事業

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 平成30年	令和元年度	令和2年度	目標値 令和3年度
1	ゆうがおパーク売上高	88,000千円	年度目標値 91,000千円	97,000千円	110,000千円
			実績値 96,972千円	113,467千円	
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>中小企業診断士に年間を通じた経営診断を委託したことにより、経営に対する課題が明確化され経営改善に向けた提言が示された。 このような中、独自に経営改善すべき点を見定め対応したことにより令和2年において、最終目標値を達成することが出来た。 今後も提言を踏まえ経営改善すべき項目ごとにPDCAサイクルを定め積極的に売上高の向上に努める。</p>			
	担当課	農政課			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和元年度	令和2年度	目標値 令和3年度
2	ゆうがおパーク来客数	100,000人	年度目標値 105,000人	110,000人	120,000人
			実績値 108,418人	116,763人	
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>売上高同様、中小企業診断士に年間を通じた経営診断を委託したことにより、来客数増加に対する課題が明確化され、集客に向けた提言が示された。 このような中、独自に集客を図るためのイベント等を実施したことなどにより令和2年度の目標値を達成することが出来た。 今後も提言を踏まえ改善すべき項目ごとにPDCAサイクルを定め来客数増加に努める。</p>			
	担当課	農政課			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和元年度	令和2年度	目標値 令和3年度
3	収穫体験等の体験活動参加人数	3,000人	年度目標値 3,200人	3,500人	4,000人
			実績値 3,322人	1,278人	
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>令和元年度においては、田植、稲刈り、野菜の種まき・収穫、餅つき体験、収穫感謝祭など幅広い世代が参加できる農業体験、イベントを実施することにより、都市住民・地域住民との交流を図るとともに、リピーターになってもらうような工夫を行い来客数の増加に繋がってきた。 しかし、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により農業体験、イベント等を自粛したことにより、目標値を大幅に下回る結果となった。 今後は、新型コロナウイルス感染症の状況を勘案しながら新たな農業体験・イベントを実施することにより来客数の増加を目指す。</p>			
	担当課	農政課			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和元年度	令和2年度	目標値 令和3年度
4	6次産業化商品等販売額 (一般加工品含む)	10,000千円	年度目標値 10,300千円	10,800千円	11,800千円
			実績値 11,837千円	11,734千円	
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>かんぴょうをはじめとした地元特産品や農産物を活用した弁当、総菜や加工品を製造販売し6次産業化を積極的に推進してきた。 その結果、令和2年度の目標値を達成することができた。 今後、経営診断で提言された新たな「店の顔」となる商品開発及び既存商品の更なる品質向上をおこなう上で消費者ニーズ・消費者視線に立って取組むことにより、ブランド化・高付加価値を図り販売額の増加に繋げる。</p>			
	担当課	農政課			

地方創生推進交付金活用事業

(3) 下野市を知ればもっと好きになる！交流・関係・定住人口好循環拡大プロジェクト

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和2年	令和3年	目標値 令和4年度
1	転入超過人口	-106人	0人	10人	20人
	実績値		40人		
これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組		令和2年度住民基本台帳年報によると転入者数は2,277人、転出者数2,237人であり転入超過数40人であった。転入者数に大きな変化はないが、転出者数を抑えられたことが、転入超過となった要因として考えられる。下野市の魅力を伝える関係人口の取組は外向きのシティプロモーションとしてだけでなく、市民の地元への愛着形成や地域の活性化にも繋がっている。引き続き、地域の住民を巻き込みながら、関係人口創出事業に取り組み、市民の満足度向上に繋げていく。			
担当課	総合政策課				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和2年	令和3年	目標値 令和4年度
2	アニメファンクラブ会員数及びSNSを活用した情報発信サポーター数の合算	0人	100人	150人	50人
	実績値		110人		
これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組		これまでサブカルチャーである市内ゆかりの伝説をモチーフにしたご当地アニメ「サクラノチカイ」を活用したPR事業に取り組んできた。この事業を継続していくため令和2年3月にファンクラブを創設した。令和2年度の会員数は60名であった。 市内外への情報発信ツールとしてSNSを活用しており、Instagramやfacebookで下野市の情報を発信したサポーター数は50であった。 引き続き、様々な分野で下野市の魅力を伝え、関係人口の創出を図っていく。			
担当課	総合政策課				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和2年	令和3年	目標値 令和4年度
3	関係人口事業関連イベントへの参加者数	0人	50人	60人	70人
	実績値		90人		
これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組		当初予定していた関係人口関連イベントは新型コロナウイルス感染症の影響ですべてオンラインイベントとなったが、普段参加できない遠方の方や、子育て世代の方がオンラインイベントになったことで参加しやすくなったことにより、目標値を大幅に上回った。 令和3年度も関係人口創出に向けたイベントを開催し、市の魅力を伝えていきたい。			
担当課	総合政策課				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和2年	令和3年	目標値 令和4年度
4	観光入込客数	2,310,000人	2,360,000人	2,410,000人	2,460,000人
	実績値		1,797,291人		
これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組		新型コロナウイルス感染症の影響で、休館や時短営業等で市内一番の観光客が来訪する道の駅しもつけが前年比7万人以上減少してしまった。また、市を代表する天平の花まつり・芋煮会・燈桜会など大規模イベントが中止になってしまったことや、しもつけ風土記の丘資料館が改修工事で閉館していたことなどから、大幅な減少となった。 令和2年度に道の駅しもつけがリニューアルし、駐車場を増設したことや、令和3年度にしもつけ風土記の丘資料館がリニューアルオープンしたことから、下野市の歴史的的特性である文化財を活用した市内周遊観光を促し、観光客の増加に繋げて行く。			
担当課	総合政策課				